



この会報は、共同募金の配分を受けて発行されています。

平成25年12月末日 発行

やまびこ

No.231

発行

社団法人
埼玉県手をつなぐ育成会
理事長 村山 勇 治

〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂2-15-3 母子福祉会館内
Tel. 048-833-0444 Fax. 048-833-0400
E-mail:saitama@ikuseikai.jp
ホームページ <http://saitama.ikuseikai.jp>

定価50円
(購読料は
会費に含む)



公益社団法人スタートの年



理事長
村山 勇 治

新年あけましておめでとうございませう。皆様にはおだやかな新年を迎えられたことと存じます。

昨年来、自民党政権下アベノミクスによる景気の高揚に期待する動きが顕著になる中、いよいよ今年4月より、消費税が3%増税されます。

私たちに直接影響のある障がい福祉予算を含む日本の社会保障費の増大などにより、雪だるま式に大きくなっていく国の借金、一定の歯止めがかかるのか、景気の動向とともに注目されるところで。

さて、表題にも上げました一連の法人改革の最終年の昨年、当埼玉県手をつなぐ育成会は、長年慣れ親しんでいた社団法人から、公益社団法人への移行を果たすべく、10月31日、期限の1か月前に当局に申請書を提出し、認定に向かつてのスタートラインに立ちました。アクシデントが重なり、諸準備が大幅に遅れる中、極めて短期間で申請にこぎつけたことは、作業に関わっていたいただいた関係者のご努力によるものと改めて感謝いたしております。現在、当局において申請内容の確認

と審査が進められているものと思いますが、できるだけ早い段階に認定が得られるよう対応して行きたいと思っております。

また、会員の皆様には、今後公益社団法人について一層の理解を深め、公益にふさわしい活動を進めてゆくことが求められます。

この公益移行を契機に、今後、様々な機会に研修を行い、より効果的な事業を行うとともに、健全な財政への転換を図りたいと考えます。

障がい福祉制度の分野では、障害者総合支援法・平成26年4月施行分の方向性が示され、1. 重度訪問介護の対象拡大、2. CHのGHへの一元化等について、が大きな改正点で、すでに関連の政省令の改正案概要を公表し、パブリックコメントに付されました。現在は、厚労省関係部局において、詰めの作業が行われているものと思えます。

障がい者の地域生活の推進に関する議論を踏まえた、新たな制度として4月より施行されます。障がい者の地域生活がさらに充実し、豊かなものになるための改定であって欲しいと切に願うものであります。

いづれにいたしましても今年度は、公益社団法人埼玉県手をつなぐ育成会元年となり、より高い信頼性を獲得するために、より高い志を持った責任のある活動をみんなで作るながら、「今年」にちなんだ活発な活動を展開したいと思っております。

報告事項



第47回関東甲信越ブロック大会

開催日 平成25年9月28日(土)

開催地 茨城県つくば市

埼玉県からは、総勢76名(内本人6名)の参加でした。

第13回全国障害者スポーツ大会

開催日 平成25年10月12日(土)

開催地 東京都

選手回 選手121名 役員71名

【メダル獲得数】

金37 銀13 銅29

(埼玉県選手が、陸上競技で1種目、水泳で3種類の大大会新記録を樹立しました！)

第62回全国大会

開催日 平成25年11月9日(土)

開催地 大分県別府市

埼玉県からは、総勢10名(内本人2名)の参加でした。

昔も今も、そしてこれからも…

副理事長 高野淑恵

現在「特例社団法人」である埼玉県手をつなぐ育成会は、公益社団法人への移行を10月31日に申請しました。やまびこ前号の村山理事長の紙面をお読み頂ければご理解頂けるものと思いますが、今、育成会は障害福祉制度のターニングポイントに立っているのです。なぜ、公益にこだわるのか、公益でなければいけないのか、と思われる方もいると思いますが、そもそも育成会という組織は公益という言葉が生まれる以前から公益事業のみを行ってきた組織なのです。もちろん最初は、知的障害の我が子のために3人のお母さんが立ち上がったところから始まりました。法律も制度も、障害福祉などという觀念さえ無かった時代です。我が子のことだけなどというちっぽけな覚悟では立ち向かえなかつたでしょう。

「就学猶予」という言葉のもとに学校教育の門を閉ざされ、就労も医療も何もかもが無かつたときに立ち上がった先人たちの強さは想像もできません。

私の子供は既に養護学校が義務教育化され、医療補助が受けられ、交通機関も半額免除の制度がある時代に生まれ育ちました。それでも、まだまだ、不満はたくさんありました。「精神薄弱」という言葉に心は凍り涙がこぼれ、

我が子を残して先に死ぬことに怯える毎日でした。

ありとあらゆる不平等や不公平や差別や世間の理不尽さを恨み、母親として人として未熟で最悪な状態でした。息子との毎日は、療育と通院(小児喘息)で息つく暇も無いほどでしたが、そうこうしているうちに「精神薄弱」という言葉が「知的障害」に変わりました。心を凍りつかせたこの言葉が、何とか受け容れ可能な「知的障害」という言葉に変わり、ほんの少しですが心の底からポツと温かくなるものがありました。こんなにも自分はこの言葉一つに呪縛されていたのかと我ながら可笑しくなりました。何年もあとになって育成会に入ってから、そういう侮蔑的な名称の変更についても育成会が随分前から運動をしていたことを知りました。社会を変える、因習を解き放つ、制度を変える、その事がどれほど大切であるかを知ると共に、そこに至るまでに育成会という組織の弛まぬ努力があつたことを知りました。その時ようやく、独りで泣いていても不満を燻らせていても、何も変わらない、誰も幸せにならないと解りました。社会や制度を変えていく力は数です。その数を集積し、国に対して意見を具申し、欧米に比べまだまだ遅れていると言われる日本の障害者福祉をより良いものに変えていくことができる組織こそ育成会です。ずっとずっと昔からそ

ういう活動を粘り強く行ってきた組織の存在意義を強く感じました。自分は決して独りではないのだと思うことができました。

今、公益社団法人への移行を申請して思うことは、先人からたくさんのお恵を受けてきた私たちが、十年先二十年先の育成会を担ってくれる人たちのために、何を残していつてあげられるだろうということ。公益社団法人は社会的にも高く認められ、健全な運営をしていくことでいっそう組織力が上がり、組織として安定した力を持つことができると思います。その力を十分に活用して、広くたくさんの方々の知的障害児者とその家族の尚いっそうの幸せを希求し、実現していつて欲しいと思つていきます。

『どんな闇の中にも愛と希望は生まれる』と、ある人の言葉にありました。たとえ今、闇の中にとらわれて苦しんでいる人も愛と希望はなくさないでください。この世に生まれてきたすべての子に幸あれと祈りながら、私はここ育成会で、私にできる限りのことをしていきます。闇から抜け出ることができた時の、光のぬくもりを心の中に灯し続けて。



研修会・セミナーのご案内

相談員地区研修会

テーマ 「共生社会を目指しての 子育て支援」

講師 白梅学園大学教授 堀江まゆみ 氏

日時・場所 (以下の3力所)

①平成26年1月16日(木) 午前10時～正午

②平成26年1月23日(木) 午前10時～正午

③平成26年2月27日(木) 午前10時～正午

大宮ソニックシティ906会議室

就労セミナー

日時 平成26年3月11日(火) 午後1時～

会場 埼玉会館7階7B会議室

【基調講演】

埼玉県立大学保健医療 福祉学部 社会福祉学科教授 朝日雅也 氏



皆様お誘い合わせのうえ、振るつてご参加ください。

お申し込み方法は、育成会事務局までお問い合わせください。

TEL 048-8333-0444

補助事業を受けて

療育キャンプ事業

所沢市手をつなぐ親の会

サンダーバード夏台宿報告

青年学級サンダーバード代表 由井吉雄



1979年所沢市手をつなぐ親の会下部組織として青年学級が発足。その愛称がサンダーバードです。以来35年間継続して活動中。主に、知的障がい者の健康促進と心の交流を目指しています。現在、障がい者44名、ボランティアさん26名、合計70名と保護者で活動中。メインは、月2回のバスケットボールです。今年の県大会4戦全勝。調理実習(もちつき)、ハイキング、ボウリング大会等です。また、年1回8月中旬に2泊3日で、夏合宿も開催。山と海を毎年交互に実施し、今年は山で多数決で軽井沢に決定。特に今回は、ボランティアさんの発案で、徹底的にハイキングで足腰の鍛錬が主眼。8月9日(金)いよいよ出発当日です。参加者は、障がい者22名ボランティア10名保護者9名合計41名。初日は、碓氷峠のめがね橋まで2時間

30分。余りの暑さに、1人がダウン。ボランティアさんが付き添って下山。水分補給は出来たが暑さ対策に反省残る。下りは、さすがに暑さのせいで、皆バテ気味、急ぎよトロッコ電車で下山。事なきを得ました。鉄道文化村で2名と合流。皆アイスクリーム売場へ殺到。夜は、一番人気の花火大会で大盛り上がり。今回の宿泊所は、男子は大部屋で文字通りの合宿となりました。



さて、3日目も、白糸の滝、鬼押し出し園をハイキング。こうして、3日間、歩き通して、足腰の鍛錬を実行。17時に、全員無事に所沢駅に到着。オツカレサマデシタ。3日間、歩き続けた会員、ボランティアさん、保護者、そして運転手さん、ありがとうございました。来年は海です。

2日目は、旧軽井沢銀座から標高1200mの旧碓氷峠へ。2時間30分で登頂後、全員で記念写真を撮りました。下山は、疲れた人達は、あらかじめ予定のバスで下山。残りの人達は、同じ道を歩いて、旧軽井沢銀座で合流。またまたアイスクリーム売場へ殺到。夜は、レクリエーション大会で大盛り上がり。

日常生活訓練事業

「大震災に備え、みんなで大震災に備え、みんなで大震災に備え」を終えて

八潮市手をつなぐ親の会 佐川 美穂子



東日本大震災から時が経ち、震災への意識も薄れている中で、近く起こりうるであろう大震災に備え、今自分達に出来ることは? という思いから、まずは親子で実際に体験してみよう! と今回の実施となりました。

体育館を借り、初めに防災グッズの紹介と説明。実際に手に取りあれこれ質問。次に、段ボールで間仕切りを作りその中で寝てみると、人の視線が気になる・圧迫感がある・隣が知らない人だとかなり気を使う・歩いている人からはまる見え・息苦しい・蒸し暑い・床は痛い等々、長期に亘るとなると心身に支障をきたすのではないかと、何よりこの狭いスペースの中で我が子が周りの人に迷惑をかけずに過ごすのは厳しいと実感した人も多く、各々心に残るものがありました。続いてその狭いスペースの中で非常食の試食。説明の時にも種類の多さに驚きました

が、これがまたなかなか美味しい。家の子は絶対食べないと購入を躊躇っていた人も、食べられる事を確認。今の非常食は良くなってるね。これならイイね。そんな声が沢山聞こえました。次に消防隊員の皆さんから、応急手当・簡単な担架の作り方を教えて頂き、会員も、実際に



担架を作り運んだり運ばれたり。こんなに簡単に出来るんだね。応急手当の仕方はたまにやらないと忘れちゃうね。頭では分かっていることでも、実際に経験することで、家はこれが必要だ! これは早速買っておかなきゃ! と具体的なことが見えた時間となりました。しかし日常の中で検討課題は山積みです。防災に関しては地域ごとに格差はありますが、私達の地域に何が必要か? 親の会として出来ることは? 各個人がすべきことは? を再検討する良い機会となりました。忙しい毎日ですが、みんなと同じ時間を共有することの大切さも学び、有意義な日常生活訓練事業となりました。ご協力下さった皆様有難うございました。

理事・会長会に参加して

理事 平田秀男

11月16日(土)、埼玉会館において、理事・会長会が開かれました。自分としては初めての事であったので、少し不安な気持ちでの参加となりました。

県育成会の公益社団法人移行、会員の拡大・増強がテーマで行われました。過去にも何度か県育成会の理事会に参加してきましたが、初めてお会いする理事も多く、また各会の活動内容を聞き出す事が出来、とても有意義な体験が出来たと感えています。埼玉県育成会誕生から60年余り、育成会の知名度の低下及び会員数の減少問題は、皆様もご存じのことと思います。私が育成会の活動に参加しようと思った理由は、私達のまわりにいる困難を抱えている、子供や保護者の味方となり、行政に意見の言える組織は育成会、その活動の為に、何が出来るかと考えたからです。育成会は絶対に必要な組織だと言う事です。「知的障害」「発達障害」は、多くの人が知る言葉になってきました。しかし、それを本当に理解している人は、多くは居ないと思います。本当の子供達や人を知ってもらい、親子後も、安心して暮らせる「共生社会」を実現するために、育成会は進歩を続けなければなりません。その第一歩が、公益社団法人への移行です。村山理事長から、何度となく説明をしていただいき

ましたが、頭が悪い為完全に理解することが出来ていません。一生懸命に勉強しなければと思っています。

又、会員の減少は、行政と交渉する時にもマイナス要因となってきます。国に対する影響力も弱くなります。会議の中で少しずつ若い会員が増えてきているという事例がありました。何故、どう広報や活動を展開していけば、そうなるのか皆で意見を言う機会を月一回位の形で進めては行かないか。私の地元で活動をしている親父の会があります。当初は、三人程でスタートし、学校行事の準備等のお手伝いをしていました。今では多くの親父さんが参加しています。育成会親父の会を考えてはどうですか？

今後の主な日程

日にち	内 容	会 場
1/16(木)	相談員地区研修会(越谷)	越谷市中央市民会館5階第2,3会議室
23(木)	相談員地区研修会(熊谷)	熊谷文化創造館さくらめいと会議室2
25(土)	新年交流会	浦和ロイヤルパインズホテル
2/27(木)	相談員地区研修会(大宮)	大宮ソニックシティ906会議室
11(火)	就労セミナー	埼玉会館7B会議室
22(土)	育成会 理事会(予算)	育成会2階会議室
28(金)	いきいきネット 理事会	育成会2階会議室
4/26(土)	育成会 理事会(決算)	育成会2階会議室
5/24(土)	育成会 総会	埼玉会館3C会議室
	いきいきネット 総会	//
7/ 5(土)	第61回県大会 前日準備・リハーサル	熊谷さくらめいと
6(日)	第61回県大会	//
9/19(金)	第48回関東甲信越ブロック大会(山梨県甲府市)	
27(土)~28(日)	第63回全国大会(島根県松江市)	島根県民会館
11/ 1(土)~3(月)	第14回全国障害者スポーツ大会「長崎がんばらんば大会」	長崎県

あ と が き

今年もまた新しい1年が巡って来ましたね。気持ちも一新

リニューアル、ということ、育成会のホームページも満を持してリニューアルしました！

今まで「知らなかった」人や「あまり見たことがなかった」人も、今まで以上に綺麗で見やすくなったホームページを活用して、最新ニュースや今後の行事をチェックしてみたいかがでしょうか？

事務局長より

<http://saitama.kuseiikai.jp/>



社団法人 埼玉県手をつなぐ育成会

メリット1

従来の割引(等級)は継承した上で **さらに 保険料を 10.0%引!!** (同内容当社比) ・他社からの割引(等級)も継承できます。

障害者家族に対する保険料軽減制度はノンフリート契約が対象となります。

メリット2

障害のある人・ご家族のための**特別保険金**創設!(わずかな負担で補償を充実!)
重度後遺障害 ● 最大 **5,000万円 補償!!** (保業者) ● 最大 **1,000万円 補償!!** (本人、保護者以外の同居の家族)
保護者代行ホームヘルパー費用 ● 入院1日当たり **20,000円** (3日以上入院、90日限度)
入院一時保険金 ● 1名につき **50,000円** (3日以上入院の場合)

AIU保険会社 ※詳しくは当社または代理店にお問い合わせ下さい。

AIUの自動車保険に 保険料軽減(割引)制度

(障害者家族に対する保険料軽減制度)

お問い合わせ・お見積り
 専任代理店 (株)ジェイアイシー
 TEL 03-5321-3373
 FAX 03-5321-4774
 メール: info@jicgroup.co.jp
 フリー 0120-213-119
 ホームページ: <http://www.jicgroup.co.jp>